

号外

広報ひらつか

発行平塚市役所・編集総務課・TEL1261-1262-7・(臨時) 値3円

号外 27,700部発行・全世帯配布 9月20日

第5回原水爆禁止世界大会・特集号

(原稿・原水爆禁止平塚市協議会提供)

ヒロシマから訴える

平塚代表团十三名も参加して 二万人の歓呼と拍手

世界大会・広島アピールを採択

ヒロシマ(ノ・ヒロシマ)海をこえ、山をこえ、あつまつ世界の平和の声をこえて、八月二日、広島市ひらかれた第五回原水爆禁止世界大会は、平和行進の代表・外国代表・全国各地域の代表た約三万人あつた。一週間じつた多岐な会議・分科会などを通じて、「原水爆禁止運動の原則・目標」「原水爆禁止行動」についての動議などを決議したあと、十七夜(ノ・ヒロシマ)を採択。参加者の歓呼(ノ・ヒロシマ)のような望のうちに、おおきな成果をあげて閉幕した。この世界大会には、平塚市からも、十三名の代表が、十万人の声をこえて、特別車白馬で参加し、大会成功の一翼をこげた。こゝに報告をこえて、国長(ノ・ヒロシマ)をおおきな声でこえた全市民に対し、平塚市協議会からの大会報告をこえて。

中央報告会に聴衆三百

平塚原水協は、八月二十一日夜、き、広島へ行く(ノ・ヒロシマ)代表の別席農業会館ホールに、第五回原水爆禁止世界大会、中央報告会をこへ、聴衆三百名をこえた。

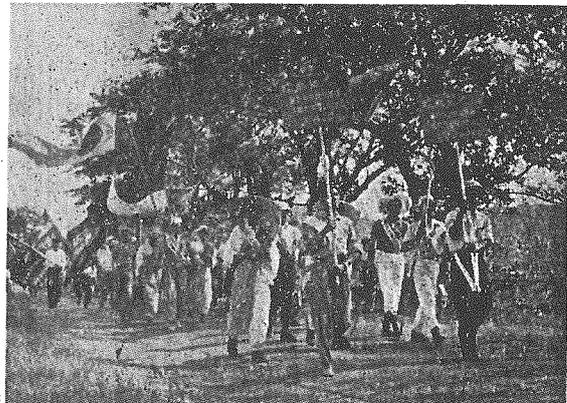
決議文の内容

私たちはヒロシマから訴えます。何十万という原爆の犠牲者たちが地下に眠り、最初の原爆投下から、この悲劇が十四年たつた今もなお、その傷が多くの人の肉体にも、精神にも残つてゐる。このヒロシマから、私たちは世界中の政府を国民に訴えます。広島は、この原爆の犠牲者たちよつて破壊されました。しかるに、広島に落ちた原爆は、その千倍も千倍も強力な核爆が存在するにたりました。核兵器所有国は、これらの恐ろしい兵器が何千と貯蔵され、それらは私たちの文明を破壊せよとあつてゐるものさす。私たちのすべては、核兵器の存在による絶望の淵に落ちかゝつてゐるのです。今、私たちの前には、きつぱつと立ちた選ばなくてはならぬ二つの道があります。一つは、破壊力がますます増大する核兵器の競争をこへ、戦争の連鎖を断つて、平和の道に進むことです。これは、狂気ては、それを断絶するべき、

ヒロシマ・アピール

一九五九年八月七日 広島

私たちは、世界中の人々との何千と貯蔵され、それらは私たちの文明を破壊せよとあつてゐるものさす。私たちのすべては、核兵器の存在による絶望の淵に落ちかゝつてゐるのです。今、私たちの前には、きつぱつと立ちた選ばなくてはならぬ二つの道があります。一つは、破壊力がますます増大する核兵器の競争をこへ、戦争の連鎖を断つて、平和の道に進むことです。これは、狂気ては、それを断絶するべき、



(写真上・市内金目川土手を通過する平和行進の一行)

巡回世界大会報告会

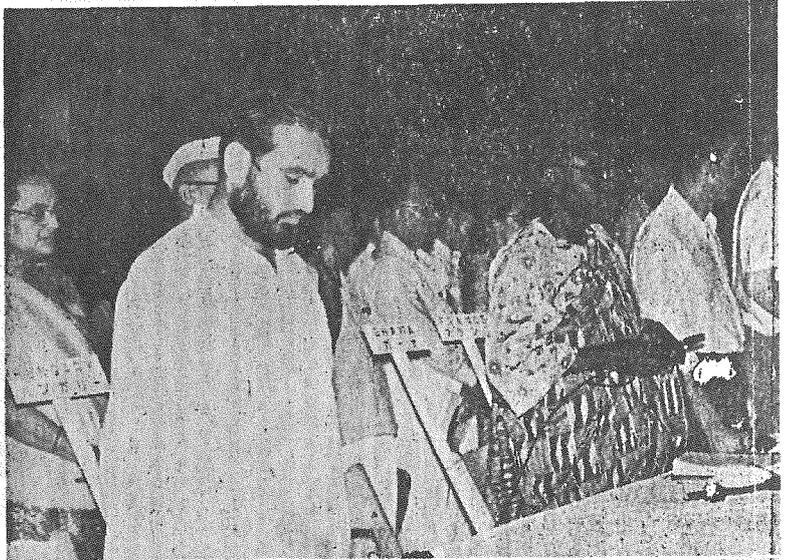
- 9月21日(月) 城島公民館—報告・土屋、高梨、軽部
- 9月25日(金) 金目公民館—報告・田中、飯尾、國分
- 9月30日(水) 旭小学校—報告・田中、飯尾、國分
- 10月2日(金) 神田保育所—報告・加藤、沖津、小林
- 10月7日(水) 金田小学校—報告・佐草、軽部、石田
- 10月12日(月) 豊田小学校—報告・土屋、佐草、國分
- 10月16日(金) 四之宮公民館—報告・沖津、高梨、小林

- 10月21日(水) 中原公民館—報告・佐草、沖津、田宮
- 10月26日(月) 豊原公民館—報告・沖津、飯尾、小林
- 10月30日(金) 桃浜公民館—報告・加藤、田中、田宮
- 11月5日(木) 見附台公会堂—報告・田中、加藤、石田
- 11月9日(月) 須賀公民館—報告・土屋、飯尾、田宮

各会場とも、戸川市長が出席

平塚原水協では、8月31日の中央報告会に引続いて、9月上旬から市内15会場にわたる巡回報告会を開催している。各会場には、世界大会に参加した代表者が、交代で出席、広島大会の結果を報告する。同時に、大会の状況を記録したスライド「第5回原水爆禁止世界大会」も上映する。各会場とも、午後7時30分からどうぞお近くの会場へ。

13代表が綴る



「原水爆禁止運動」の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

「原水爆禁止運動」の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

「原水爆禁止運動」の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

「原水爆禁止運動」の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

「原水爆禁止運動」の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

「原水爆禁止運動」の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

「原水爆禁止運動」の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

まがり角にたつ 原水爆禁止運動

わが国、また全世界で、理解の方向が、また協力力に於いて、年々大きくなって来たことは、心から喜ばせて居られます。

共、原水爆禁止運動の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

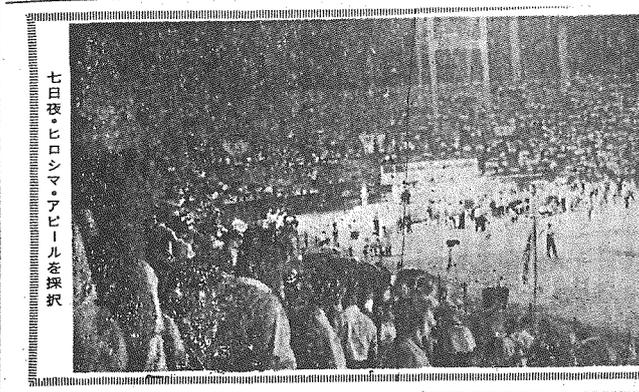
「原水爆禁止運動」の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

「原水爆禁止運動」の中心人物として知られる田中四郎氏(左)と、代表者ら。背景には「原水爆禁止運動」の標語が掲げられている。

原水爆禁止平塚市協議会 昭和33年度決算報告

収入の部			
科 目	予算額	収入額	引越不足額
1. 会費	95,000	64,600	△30,400
2. 募入金	100,000	116,010	16,010
3. 事業収入	50,000	30,657	△19,343
4. 補助金	30,000	30,000	—
5. 雑収入	24,299	24,299	—
6. 寄附金	1,000	1,660	660
7. 雑収入	701	2,277	1,576
収入合計	301,000	269,503	△31,497
支出の部			
科 目	予算額	支出額	引越不足額
1. 事務費	25,400	7,637	17,763
2. 旅費	10,000	4,290	5,710
3. 通信費	7,400	327	7,073
4. 消耗品	6,000	2,120	3,880
5. 印刷費	2,000	900	1,100
6. 事業費	116,000	121,883	△5,883
7. 報償費	14,000	13,410	590
8. 旅費	3,000	720	2,280
9. 消耗品	15,000	10,750	4,250
10. 借料	40,000	57,741	△17,741
11. 食料	24,000	23,857	143
12. 印刷費	20,000	15,405	4,595
13. 大会参加費	117,600	87,930	29,670
14. ①参加費	56,000	56,600	△600
15. ②旅費	59,300	29,890	29,410
16. ③消耗品	2,300	1,440	860
17. ④会費	12,000	8,328	3,672
18. ⑤会議費	12,000	8,328	3,672
19. ⑥負担金	26,000	17,000	9,000
20. ⑦負担金	26,000	17,000	9,000
21. ⑧予備費	4,000	—	4,000
22. ⑨予備費	4,000	—	4,000
支出合計	301,000	242,778	58,222

収支差引残額 26,725円……次年度へ繰越



七日夜ヒロシマ・アビールを採択

友へ 広島より



坂尾 常男

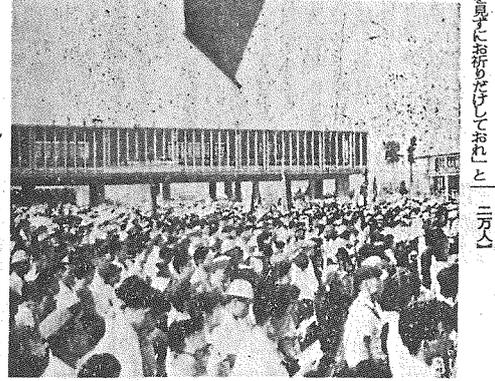
八月廿日午後三時分広島... 友へ 広島より... 八月廿日午後三時分広島... 友へ 広島より...

平和への道はけわしい



田 園 いく

全世界の注目をあつた広島... 平和への道はけわしい... 全世界の注目をあつた広島... 平和への道はけわしい...



原水爆の脅威



藤 部 弘

去る八月一日、広島市で... 原水爆の脅威... 去る八月一日、広島市で... 原水爆の脅威...

核兵器のおそろしさ... 核兵器のおそろしさ... 核兵器のおそろしさ...



小林 あみ

核兵器のおそろしさ... 核兵器のおそろしさ... 核兵器のおそろしさ...

全人類の生きる道

高梨と四郎



高梨 与四郎

全人類の生きる道... 高梨と四郎... 全人類の生きる道... 高梨と四郎...

原水爆禁止運動の推進は私達の仕事... 原水爆禁止運動の推進は私達の仕事... 原水爆禁止運動の推進は私達の仕事...

あなたも原水協会員に... あなたも原水協会員に... あなたも原水協会員に...

あなたも原水協会員に... あなたも原水協会員に... あなたも原水協会員に...

あなたも原水協会員に... あなたも原水協会員に... あなたも原水協会員に...

あなたも原水協会員に... あなたも原水協会員に... あなたも原水協会員に...